

# 国労東北自動車支部

## 東日本自動車協議会

### 第28回

### 定期委員会開催 長野

2月18日(木)～19日(金)長野県上山田温泉・上田館において、第28回国労東日本自動車協議会定期委員会が開催され、各地から27名が参加。職場の問題点をはじめ組織の強化・拡大の取り組みなど活発な討論を行い、共に頑張る決意を確認し合った。

冒頭、1月15日未明に発生した軽井沢スキーバス事故(死者15人、重軽傷者26人)で亡くなられた方々のご冥福をお祈りするため全員で黙とうを捧げ開会した。

唐澤副議長の司会と議長を兼ねて議事が進められ、東日本自動車協議会を代表して丸山議長より「ここから50km離れた軽井沢町でスキーバス事故が発生した。事故原因は特定されていないが適性検査・健康診断の未実施、運行計画書に記載のない運行、点呼の未実施など法令違反が明らかとなっている。原点到立ち返り安全・安定輸送を考え、交運労協と共に国交省に規制強化を訴えていかなければならない。」と挨拶。

### エリア本部情勢報告

来賓として東日本本部佐藤書記長から「昨年11人拡大し、和解以降202人拡大している。国労を選択した仲間を職場でしっかり支え、組織の強化・拡大に向け議論と行動を起こそう。2月12日、

賃金改善の申し入れを行った。班・分会活動を活性化し、全組合員参加の春闘を職場から盛り上げることに大切。JR東日本において重大イ

### 2015年度新役員

議長	北山修司【仙台】
副議長	丸山淳一【中央道】
事務長	唐澤富雄【長野原】

責 宣 部  
責 宣 部  
教 宣 部  
NO,86  
2016.3.10

国労加入  
で職場を  
変えよう

「原発のない福島県民大集会」  
3月12日(土)13時 開会  
郡山市・開成山球場

ンシデントや大規模輸送障害が発生している。バスにおいても軽井沢スキーバス事故で一瞬にして多くの尊い命が奪われた。法令に基づいたルール作りをしっかりと取り組んでいく。東日本大震災から5年目を迎えようとしているが未だ収束されていない。3月には安保関連法が施行となる。反原発・再稼働反対の取り組みを強化し戦争をさせない国づくりのため7月の参議院選挙をしっかりと取り組もう。」と四点にわたり提起がされた。

「運行表や座席表をタブレット端末にしているがフリーズすると立ち上がり5分ぐらいかかる。乗客に到着時刻を聞かれると対応できない。」「会社は優良企業と言っているが実態は要員不足でダブル乗務などしている。日勤者も辞めている。」「エルダーでフルに働いている。賃金は半分なのに労働時間は同じではおかしい。」など職場の問題点が多く出された。また、要望として「エルダー社員の病気休職が何故ないのか。」「関連会社には社宅・寮をはじめバスなど福利厚生面で親会社と差がある。東日本と話をしてほしい。」など出され、佐藤書記長より東日本の交渉においてバスの方を入れるなど検討したい旨の回答があった。最後に丸山議長が「昨日の交流会で問題目を並べている運動ではだめだと苦言をいただいた。次期大会には新しい仲間が議案書に載るよう取り組んでいこう。」と集約し団結ガンバローで閉会した。終了後、軽井沢の事故現場に献花し、今なお慰霊に訪れる方々を目にしたから改めて安全・安定輸送をしっかりと取り組むことを誓いあった。

